

おおだて 

令和5年5月1日 148号

市議会だより



任期最後の3月定例会、議場の様子

(令和5年3月20日撮影)

令和5年3月定例会 議案等の審議結果……▶	2
一般質問……▶	5
常任委員会から……▶	11
令和5年3月定例会をもって御勇退される皆様 ……▶	13
私もひ・と・こ・と……▶	14

3月定例会の主な議案等の審議結果



令和5年3月定例会は、2月27日から3月20日までの22日間の会期で開催されました。市長提出議案は報告2件、専決処分の承認1件、条例案9件、単行案2件、予算案38件など合計76件でした。

ここでは、審議の結果の主なものをお知らせします。

専決処分の承認

承認

認 第 1 号 令和5年度大館市一般会計補正予算（第11号） ほか

条例案

原案
可決

- 議案第 1 号 職員の分限に関する条例の一部を改正する条例案
- 議案第 2 号 大館市会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例案
- 議案第 3 号 大館市子ども・子育て会議に関する条例の一部を改正する条例案
- 議案第 4 号 大館市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案
- 議案第 5 号 大館市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案
- 議案第 6 号 大館市へき地保育所設置条例の一部を改正する条例案

ほか

単行案

原案
可決

議案第10号 市道路線の認定について（代野道北10号線外2路線）

ほか

補正予算案

原案
可決

議案第11号 令和4年度大館市一般会計補正予算（第12号）案

議案第12号 令和4年度大館市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）案

議案第13号 令和4年度大館市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）案

議案第14号 令和4年度大館市介護保険特別会計補正予算（第3号）案

議案第15号 令和4年度大館市介護サービス事業特別会計補正予算（第1号）案

ほか

当初予算案

原案
可決

議案第29号 令和5年度大館市一般会計予算案

議案第30号 令和5年度大館市国民健康保険特別会計予算案

議案第31号 令和5年度大館市後期高齢者医療特別会計予算案

議案第32号 令和5年度大館市介護保険特別会計予算案

議案第33号 令和5年度大館市介護サービス事業特別会計予算案

議案第34号 令和5年度大館市戸別浄化槽整備事業特別会計予算案

議案第35号 令和5年度大館市小規模水道等事業特別会計予算案

ほか

3月定例会に提出された陳情

- 陳情第68号 「最低賃金の改善を求める意見書」の採択を求める陳情書
陳情第69号 最低賃金の改善にあたり、「中小企業・零細企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書

趣旨採択

- 陳情第66号 日本全体で解決すべき問題として、普天間基地周辺の子もたちを取り巻く空・水・土の安全の保障を求める陳情
陳情第67号 消費者被害を防止、救済するため特定商取引法の抜本的改正を求める陳情書
陳情第70号 庁舎内における職員への政党機関紙の勧誘・配達・集金を自粛するよう求める陳情

継続審査

継続審査となっていた請願・陳情

- 陳情第65号 米余りを解消し、食料自給率を高めるために水稻収穫量調査の基準見直しを求める陳情

採 択

- 請願第9号 東台地区コミュニティセンター（仮称）の建設について

趣旨採択

- 請願第4号 地域医療を守り、公立病院等の維持・存続を求める意見書の提出要請について
陳情第10号 臓器移植の環境整備を求める意見書の提出要請について
陳情第43号 沖縄防衛局による沖縄本島南部の沖縄戦戦没者の遺骨が混じった土砂の採取計画を止めることを国に要請して求める意見書の提出要請に関する陳情書
陳情第47号 人工透析を要する要介護者における介護保険制度の改正について
陳情第49号 沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を埋立てに使用しないよう国に要請する意見書の提出要請に関する陳情書
陳情第50号 ウイグルの人権問題に対し国に調査を求める意見書採択のお願い
陳情第58号 中国共産党による臓器収奪の即時停止ならびに人権状況の改善を求める意見書の提出に関する陳情
陳情第59号 安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善のため国に意見書提出を求める陳情
陳情第60号 医療・介護・保育・福祉などの職場で働くすべての労働者の大幅賃上げのため国に意見書提出を求める陳情
陳情第61号 介護保険制度の改善を求める陳情書
陳情第62号 学校部活動の地域移行に関する陳情書
陳情第64号 再生可能エネルギーを使った地方の人口減少に歯止めをかける仕組み作りを求める陳情

継続審査

— 大館市議会から意見書を提出しました —

- ・米余りを解消して食料自給率を高めるために水稻収穫量調査の基準見直しを求める意見書

《提出先》 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、農林水産大臣、内閣府特命担当大臣（消費者および食品安全）

人口減少対策、少子化対策は

田村 秀雄 議員（市民の風）



ないと思う。空き家対策と併せた移住対策が早急と思うが、市ではどのように考えているのか。

〔問〕 大館市の人口は合併時8万人ほどのものが、現在6万7000人。また、小中学校の児童・生徒数は平成24年度の5344人だったが、令和4年度は4041人と1303人も減少している。国・県でも課題としているが、市独自の人口減少対策はどのように考えているか。

〔市長〕 国の少子化対策のほか、1歳、2歳の誕生日を迎えた子供がいる世帯へ1人当たり2万円分の地域限定商品券の贈呈や出産一時金を超過した出産費用負担の軽減を図る

出生医療助成金を令和5年度の新規事業として実施する。あわせて、国全体が人口減少の局面にある中で、個人の多様性を尊重し、結婚したい、子供を産み、育てたい、大館で暮らしたいという願いに寄り添う施策を展開していく。

〔問〕 移住者が近隣市町村より少

ないと思う。空き家対策と併せた移住対策が早急と思うが、市ではどのように考えているのか。

〔市長〕 移住に向けた対策として、市内での移住フェアの出展や移住相談会を開催するとともに、平成27年度からは地域おこし協力隊制度を活用し、移住に関する相談対応や情報発信、移住者の暮らしをサポートする移住プロデューサーを配置している。また、移住者に対する支援制度としては、空き家バンクに登録されている住居を購入した転入者を対象に交付する定住奨励金では平成27年度の開始から39件、東京23区または東京圏に在住し、東京23区で一定期間勤務した方で転入してきた方を対象に交付する移住支援金では、令和元年度の開始から8件となっている。

〔問〕 移住者への空き家と空き家に付属した農地の無償提供の考えは。

〔市長〕 農地の無償提供については、当事者間の契約行為であるが、令和5年4月の農地法改正により、農業委員会の審査を経ることで面積の制約なく自由に農地利用できる制度が開始されることから、農業に興味を持つ方に対しても積極的に情報発信していく。

一般質問の全文は、6月中に市のホームページへ掲載する会議録でご覧いただけます。

一般質問

産業振興と利用者ニーズにかなう交通政策について
多世代住まいへの支援による思いやりのある社会構築へ
高齢者を在宅で介護している家族へのサービス改善と
向上について

田中 耕太郎 議員（令和会）



ら「大館市まち・すまい協議会」を立ち上げ、多様性を大切にされた暮らしを支援し、犯罪への誘いに負けないため地域とのつながり、支え合うことを地域の要とする。

〔問〕 高齢者を在宅で介護する家族へのサービス改善と向上していく中で、紙おむつなどの介護用品を現物で配送するサービスを取り入れてはどうか。

〔市長〕 介護用品現物支給は在宅で高齢者介護している非課税世帯に介護用品支給券を交付、家族介護用品支給事業を実施している。紙おむつは欠かせず、正しく使用することは御本人のみならず御家族の負担軽減につながり、正しい使用方法や基礎知識を学ぶ場を設けるなど内容の充実を図る。

介護用品の宅配サービスについては、介護用品支給券の取扱いと訪問介護サービスの両方を手掛ける事業所の中には、訪問介護に併せて、利用者が購入した介護用品をお届けし、商品に関するアドバイスをを行うことが可能な事業所もあるので、周知していく。

〔問〕 産業振興と利用者ニーズにかなう交通政策について

〔市長〕 「外に強いまちづくり」をよい一層進めるため北東北の物流の核となる大館インランドデポの推進と首都圏との人流・物流・情報流を増やす大館能代空港3便化の継続に全力で取り組んでいる。一方、家に優しい地域交通は今こそ再構築が必要であり、共創を通じた地域交通の変革が地方に求められて大館版mobiプロジェクトへ挑んでいる。交通事業者と相互連携を促し、持続可能性と利便性の向上に取り組む。

〔問〕 多世代住まいへの支援による思いやりある社会構築を。

〔市長〕 住宅リフォーム推進事業の一環により三世代同居や子育て世帯への支援を拡充してきた。4月か

*新型コロナウイルス飛沫感染対策として、演壇に透明アクリル板を設置しました。

介護保険料について PETを備えた検診センター設立について 郷土が生んだ製作家の遺品を守ってほしい

阿部 文男 議員（地域の会）



は25年連続ワースト1である。市で毎年行っている集団健康診断のほかにも、別の医療機関の医師に第2の意見を求め、素早い治療につながるように、PETを備えた総合検診センターの設立を求めたい。

〔市長〕 令和6年度の介護保険料改定について見直しされる案件は、①保険料を納める年齢を前倒しする案、②所得の多い高齢者の保険料を上げる案、③介護度の軽い人へのサービスの一部を市町村に移行する案、④利用者負担の引上げ案などが議論されたが、保険料の引上げにより利用を控えることにつながる懸念される。私たちの老後を支えてくれるはずの介護保険料が私たちの生活を圧迫することにならないように、介護保険料については据置き、できれば引下げを判断してもらいたい。

〔市長〕 令和6年度から3年間の第9期事業計画の策定準備を進めている。高齢者の社会参加促進や介護予防に資する取組を強化し、介護給付費を抑えることで保険料の上昇幅抑制につなげていく。

〔問〕 現在、秋田県のがん死亡率

〔市長〕 がん検診の受診率は前年度比で胃・大腸・肺検診では横ばい、ウエブ予約を導入した子宮がん検診は5ポイント、乳がん検診は9ポイント増の見込みだが、依然として低い。センター設置の必要性を強く感じている。

〔病院管理者〕 PETは1日10人程度しか検診できず、1年フル稼働でも人口の3・7%と非効率。がんの早期発見に役立っているのは難しい。

〔問〕 旧田代町出身の世界的にも高名なバイオリン製作家である松田鉄雄氏の遺族から遺品を全て処分したいとの話が伝わってきた。大館が生んだ弦楽器製作家の貴重な遺品を保存、展示をすることで、市民、特に子供たちに郷土が生んだ偉人の功績を顕彰というかたちで広く知ってもらいたいと考えるが。

〔市長〕 これまでチェロなど4丁を寄贈している。遺品については遺族の意向や関係者の意見を聞きながら検討したい。

一般質問

大館市議会

検索

クリック

本市でも、子供の医療費の窓口負担は、18歳まで無料にすること

笹島 愛子 議員（日本共産党）



も、子供の医療費助成の対象について、18歳までに拡大することとしている。

現在、令和5年8月の福祉医療費受給者証の切替え時期に併せて実施できるように検討している。

バスの「得とく定期券」の改善について

〔問〕 定期券の購入は、1カ月、3カ月、6カ月定期が年2回のみ。回数を増やすべきではないか。

また、乗降範囲を北秋田市が実施しているように拡大するべきではないか。

〔市長〕 定期券の利用範囲の拡大については、交通手段の地域間連携などを総合的かつ幅広い視点から、再構築していくことが重要と考える。

暴風雪対策について

〔問〕 二井田地区での検証を、今後どのように生かすのか。

〔市長〕 自発光式スノーポールを設置した結果一定の効果が。今後、市道への設置を進めていく。

〔市長〕 今般、国では子育て世代の負担軽減や少子化対策として、全ての世代で公平に支え合う仕組みづくりを掲げている。

本市の、第2期総合戦略において

ふるさとキャリア教育の総括 秋田犬保存会の本部展の他市開催 ほか

小棚木 政之 議員（令和会）



④ まだ道半ばであり、総括や昇華は四半世紀後になると考える。

〔問〕 行政業務に「品質」という概念を導入しては。無駄な作業や市民からの不足感を払拭すべき。品質の概念がないので、せっかく一所懸命仕事をして市民から批判される。

〔市長〕 業務量が増加しているが、担当者によって到達度に違いがあつてはいけない。マネジメントシステムや内部統制制度により一定の業務品質は保たれていると考えるが、多種多様な市民要望に対応するため企業の経営手法なども参考にしていく。

〔問〕 秋田犬保存会の本部展他市開催について。秋田犬は既に広く普及しており、本場を守ることこそ価値を高めることにつながるのではないか。地域経済への波及も大きい。

〔市長〕 他市開催は同会で既に決定事項であり、非常に残念。地域経済への影響があることは心苦しいが、公益社団法人としての同会の決定は尊重しなければならない。来年は本市での開催となるよう、市議会と連携しながら働きかけを行いたい。

〔教育長〕 ① 消滅可能性都市からの脱却という課題に対し、少数精鋭の街を構築すべき未来大館市民の育成を目指し取り組んできた。
② 教育単独で解決できる問題ではないが、確かな手応えを感じている。
③ 推進に共感する声が圧倒的に多いが、学校現場は多忙化しており、働

一般質問の全文は、6月中に市のホームページへ掲載する会議録でご覧いただけます。

一般質問

総合病院と扇田病院の「病院事業経営強化プラン」を民間に委託した理由は何か

佐藤 芳忠 議員（市民の風）



会等では報告されていません。「診療所にはこだわらない」といつ決めたのか。また市長はそれを了承しているのか。

〔病院管理者〕 いつ診療所化方針を変えたかとのことですが、今でも診療所は最も最適であることには変わりはないということです。ただし、今後は診療所化だけではなく、ほかの医療形態も考慮するということですので、こだわらないということですね。

〔問〕 診療所化方針にはこだわってないと私は初めて聞きました。診療所化方針にこだわってないと言ふ言葉は、市長からも吉原管理者からも私は一回も聞いた記憶がありません。いつ、そのような発言をなさったのですか。

〔病院管理者〕 2021年の6月に「診療所化が最適だ」という話でした。その後2022年に扇田病院が早急な建て替えが必要だという件で、少し時間があるということができましたので、2022年度に、それでは「診療所化だけではなく、ほかの形態も検討します」と。その時点から診療所化のみありきではないです。その辺は多分、厚生常任委員会何度か説明しておりますから、記録をよく見て頂ければわかるかと思えます。

〔問〕 去年総務省より病院の経営強化に取り組むようにとの通達があり、病院事務局は総合病院と扇田病院が安定した経営と地域に必要な医療を継続するために、専門的見地から策定支援等を行う業務を委託すると、東京の業者に委託しましたが、その内容は今まで、市立病院の医師と看護師と事務職員が策定し続けてきたものと同じであり、1400万円で民間に委託する必要はないものですか。

※新型コロナウイルス飛沫感染対策として、演壇に透明アクリル板を設置しました。

避難所運営には、女性の視点を入れるべき 高齢者がデジタル社会の利便性を実感できる暮らしを推進へ

おばた
小畑 新一 議員（公明党）



みづくりについては「大館市DX推進基本方針」を踏まえて、具体的な施策や事業を検討し、実施していく。
〔問〕 福祉避難所を利用する避難行動要支援者の方の個別避難計画は、作成が、法改正で努力義務となった。個別避難計画を、順次、計画的に整備すべきでは。

〔問〕 災害時の避難所運営に、女性の視点を取り入れることができるよう工夫すべき。災害担当部局に女性職員を配置し、きめ細かな配慮のある避難所の運営を推進すべきでは。

〔市長〕 災害対策業務に女性の視点を取り入れることは重要である。避難所運営において、女性や子供、高齢者を含む要配慮者等に配慮したきめ細かな対応が不可欠である。今後、女性の視点を取り入れた防災・減災対策を積極的に推進する。

〔問〕 高齢者の方がデジタル社会の利便性を実感できるようにすべき。高齢者の方がスマートフォンを使用できるようにするために、デジタル推進委員が活躍しやすいように支援や制度を検討すべき。

〔市長〕 デジタル推進委員の活用を含め、高齢者の方やスマートフォンを利用できない方への支援の仕組

〔市長〕 十二所地区内にモデル地区を設定し、自治会や社会福祉団体、民生委員等の関係者と連携を図り、計画作成後の見直しなども含め、ノウハウを蓄積した上で、順次、計画の作成を進めていく考えだ。

〔問〕 コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進に取り組むべきである。この取組はこれからの少子化、高齢化、人口減少に対応するためにも必要であり、市として十分に予算を取り、費用面でも支援すべきではないか。

〔市長〕 来年度から全校へ導入するコミュニティ・スクールについては、学校や地域の課題を活発に協議し、解決できるよう支援していくとともに、今後の活動状況を踏まえながら、予算の措置も検討していく。また、本市のまちづくりの観点からも、地域の方々と企業と連携し、学校を核としたコミュニティの形成を進める。

一般質問

大館市議会

検索

クリック

あと数年で「大館は変わる」と確信した

たむら
田村 儀光 議員（活性大館）



〔問〕 大館が変わったと、市民が実感するのはいつ頃か。

〔市長〕 「大館を変える」と決意してから8年、目指すべき将来像として、匠と歴史を伝承し、誇りと宝を力に変えていく「未来創造都市」を基本構想に掲げ取り組んできた。2期目4年間は、感染症の拡大により、人の流れ、働き方や生活様式の変化、加えてロシアによる軍事侵襲などにより、一部施策の見直しも余儀なくされたが、立ち止まることなく、あらゆる施策に取り組んできた。今後、これまで進めてきた施策の成果が現れ、変化を遂げた大館を実感していただけるものと考え信じている。

〔問〕 有機農業推進の取組について、積極的に取り組むべきと思うが市長の考えは。

〔市長〕 国の「みどりの食料シス

テム戦略」では、2050年までに耕地面積の25%、100万ヘクタールを有機栽培とする方針が示された。本市でも、有機農業栽培技術の確立に向け、今年度から5者のモデル農業経営体による水稲と山の芋の有機農法の栽培実証を行っている。令和5年度も引き続き、栽培実証を進めるとともに、有機栽培の品目を増やし、また、産地地消と食育の推進のため、市内の学校給食に提供することも視野に入れている。

〔問〕 各種イベントへの補助金の有効な使い方について。

〔市長〕 コロナ感染症の影響により、田代地域においては「たけのこまつり」「大鮎の里ふるさとまつり」「五色湖まつり」が3年連続全て中止となった。地域活性化の観点から、代替イベントへの補助金交付については、柔軟に対応できるよう前向きに検討していく。

〔問〕 県の食品産業振興ビジョンへの対応は。

〔市長〕 県では昨年12月にビジョンを策定し、事業者間連携の促進による食品産業の底上げを目指す方針を示した。今後、国の動向を注視しながら県と連携し、様々な方策を講じていきたいと考えている。

※新型コロナウイルス飛沫感染対策として、演壇に透明アクリル板を設置しました。

大館市における食品加工産業の積極的拡大策を望む

日景 賢悟 議員（無所属）



るなど、県と連携しながら、地場産品の活用や地域ブランド開発に向けた働きかけを行う。

〔問〕 ふるさと納税で得た寄附金を、食品加工工場設立の原資として投資することで、さらなるふるさと納税の拡大や、農業の振興につなげる政策を行ってほしい。

〔市長〕 日景議員の御提案は、寄附の増大と、返礼品の充実という好循環を生み出すもので、ぜひ検討してみたい。

〔問〕 食品加工産業拡大のため、市、県、大学、JA、銀行、商社などが集まった、食品加工産業クラスターの役割をなす、シンクタンクのような組織を設置してはどうか。

〔市長〕 今後、関係機関と協議しながら、農・林・畜・水産業と食品産業が補完し合い、付加価値を高める「産・学・官・金」の枠組みと、オール大館の食のサプライチェーンをぜひつくりたい。農業者の所得は必ず上がる。

〔問〕 大滝温泉の熱や、排熱を有効活用した資源循環型の食品加工工場を十二所地区で展開してはどうか。官民一体となった次世代型の展開を望む。

〔市長〕 機能や整備方法、運営方法について在り方を研究し、ニーズと先進地調査を行い、実現を目指す。

〔市長〕 大規模事業者には固定資産税優遇、中小事業者には新商品開発などの支援を行う。また、創業支援事業で新規参入事業者を後押しす

〔問〕 首都圏で行われている食品加工品の商談会に大館の企業、大館の食品加工品がない現状は非常に残念。大館市において、今後ますます食品加工産業振興策が必要と考える。市として現在の状況をどのような認識で捉えているか。

〔市長〕 食品製造業の事業所数は25社で、製造業に占める割合は19%と最も多い業界。地域経済や雇用を支える重要な産業であるにもかかわらず、この10年で2割減少するなど厳しい状況であると認識している。しかし、本市の食文化や地域資源は食品産業として伸び代があると確信している。

〔問〕 このたび、県がまとめた「食品産業振興ビジョン」に対し、どう足並みをそろえるのか。

一般質問の全文は、6月中に市のホームページへ掲載する会議録でご覧いただけます。

一般質問

高齢者が暮らしやすい街を安心してできる医療体制の構築を

吉原 正 議員（市民の風）



として栽培支援をしており、付加価値の向上と販路開拓による所得向上で生産者の確保に努めたい。比内地鶏の自給飼料はJA等関連団体と協議し、2023年度から子実用トウモロコシの栽培実証に取り組み。飲食店や市場が求める肉質のものを目指し、新たな地鶏の開発も生産者と協議中である。

役割分担での医療体制継続を

〔問〕 高齢者が暮らしやすい街への施策として誇れることは何か。

〔市長〕 地域支援事業として各地域に生活支援コーディネーターを配置。住民主体の支え合いの仕組みづくりを進めている。

資材高騰で農家経営は危機

〔問〕 昨年の農作物の収益減に加え、肥料、資材等の高騰は農家の経営を直撃している。こうしたときこそ大胆な政策発動を。

〔市長〕 稼げる農業を確立するため、小麦の輪作体系構築や、有機農産物による高付加価値化の栽培実証等の所得向上策に取り組んでいる。

〔問〕 特産のとんぶりは生産者の確保、比内地鶏は飼料高騰に苦しんでいる。生産地域の拡大や自給飼料の研究などに取り組むべき。

〔市長〕 とんぶりは市の重点作物

〔問〕 県内でも医師が少ない地域なのに、あえて医師、看護師等の医療資源を減らす方策は正しいか。一つの病院で全ての患者を診るのが本当にできるのか。また非効率で経営的にも厳しいのではないかと。

〔病院事業管理者〕 本地域は県内で最も医師数が少ないが、医療者や医療資源を増やし、必要とされる医療需要に応えられる医療体制を構築していきたい。急性期、回復期、慢性期、それぞれに特化した専門化するのが経営的にもよいとされるが、本地域は医療機関が少なく、また、急性期の病気を持つ人が同時に幾つもの慢性疾患を持つことが多い。急性期病院であっても介護力がないと運営していくのが困難な状況である。当然、経営的にも困難であるが、本地域の実情に鑑み、住民の要望に応えることを第一と考え、対応していきたい。

*新型コロナウイルス飛沫感染対策として、演壇に透明アクリル板を設置しました。

秋田犬保存会の5月の本部展に関する市長の2月6日の定例記者会見で発言した方針について

伊藤 毅 議員（令和会）



〔問〕 秋田犬保存会の春の本部展について、市長は定例会見で「保存会の決定を尊重する」と述べ、県内での持ち回り開催を一例に挙げ、大館市以外の県内開催に一定の理解を示し、大館市開催を要請しない方針を表した。この発言に、秋田犬保存会東北支部の会員、秋田犬を愛するたぐさんの大館市民、大館での入賞を夢見る全国の保存会の会員が驚きと怒りを感じている。主催、秋田犬保存会、主管、秋田県北支部の春季本部展は、昭和19年第8回大会以来、今まで80年以上の長きにわたり、秋田犬のふるさと大館で諸先輩の会員の努力によって開催されてきた。秋田犬イコール大館犬、大館犬イコール秋田犬。この思いがあったからこ

そ、県北支部の会員は頑張ってきたのである。春の本部展は、なぜ東北・北海道総支部、しかも県北支部の大館で80年以上も行われてきたのか。東北・北海道の各県の支部も本部展を開催したいが、我慢しているのは大館は秋田犬の本場、聖地だからであり、だからこそ福原市長には、大館の開催こだわってほしかったのである。保存会の会員は、いつかは春の本部展に出陳させて秋田犬の聖地大館で入賞したいと思っており、その春の本部展での入賞は名譽なことと思っている。会員の多くは本部展の持ち回り等、春の本部展への市長の認識はその程度なのかとがっかりしている。今後、市長がどのような行動をするのか注目している。いずれにしろ、保存会と市との連携は必要であり、福原市長には矜持を持って保存会会長と連携することを望む。

〔市長〕 秋田犬保存会と本市の強固な連携は必要であり、今後も市議会と連携しながら働きかけを行っていききたい。

大館市議会

検索

クリック

一般質問

道路の舗装補修の在り方 安心して買物ができる地域交通mobiほか

相馬 エミ子 議員（市民の風）



〔問〕 道路の舗装補修を行うに当たり、どのような基準を設けて実施しているのか。一般的には部分舗装を行うようだが、なぜ柄沢町内だけ全面舗装なのか。苦情の声が届いている。道路の舗装補修の在り方について伺う。

〔市長〕 舗装補修については、損傷や老朽度、交通量、舗装歴などを総合的に勘案し、優先度の高い路線から補修を進めている。下水道工事の場合、掘削は2メートル以上に及ぶことが多く、埋め戻し直後に舗装復旧すると路面が沈下してしまうため、仮舗装とし、状態を確認した上で本復旧している。雪解け後は舗装の欠損が多く不便をかけているが、確実に補修を進め、より良好な道路環境の整備を進めてまいりたい。

〔問〕 大館版mobiの実証運行が実施されたが、幅広い年齢層に利用されており、意外と評判がいいのに驚いた。しかし同業者への影響や

採算制など、課題がないわけではない。できれば市内2キロメートル内だけでなく、比内、田代、花岡方面まで範囲を広げ、買物弱者救済に努める考えはないか伺う。高齢化や免許返納により買物や通院に困っている市民のためにも、将来的には全市をmobiが走るよう期待する。

〔市長〕 利用状況については、現在2台の車両がフル稼働しており、予約できない時もある。車両を増やすなどの対応も必要と考えている。買物支援にmobiを利用するサービスを社会福祉協議会と連携して開始したところ、大変好評である。市民へアンケート調査を実施したところ、95%の方が将来運転できなくなる不安を抱え、mobiを利用したい方も82%と、関心や期待も大きいエリア拡大の要望も多く、将来的には拡大を検討してまいりたい。

〔問〕 発達障害児への支援について本市の現状を伺う。支援拠点が秋田市1か所で「遠くて不便である」という声がある。巡回相談の継続を要望する。

〔市長〕 全国的に発達障害児に対する認知が進み、本市でも増加している。早期発見のため、秋田県北児童相談所による巡回児童相談を、県と連携を密にしながら継続して実施していく。

※新型コロナウイルス飛沫感染対策として、演壇に透明アクリル板を設置しました。

常任委員会から

大館市議会には4つの常任委員会があり、それぞれが所管する議案等の審査をしています。ここでは、3月定例会の審査の概要をお知らせします。

総務財政常任委員会



総務財政常任委員会の様子

中期財政計画の見直し 宅地等防災対策工事費 助成金の交付状況

中期財政計画の見直しと、宅地等防災対策工事費助成金の交付状況について当局より報告があった。中期財政計画は、今後5年間の財政収支の見通しを立て、今後の財政運営の健全性を確保するとともに、総合計画等で掲げている各施策や計画策定の指針にするもの。令和9年度までの歳入歳出を試算したところ、歳入のうち市税については、ほぼ横ばいで推移、地方交付税は人口減少により今後も一定率

で減少すると試算。歳出のうち公債費については、新たに元金償還が始まるものがあることから増加傾向で推移、投資的経費については、令和6年度に本庁舎外構工事や斎場建設事業、野遊びSDGs事業などがピークを迎えることから、令和7年度までは30億円を超え、その後は20億円台で推移すると見込んでいる。また、一般会計の市債の残高については、斎場建設事業等の進展により、令和7年度末の320億6千万円がピークとなると試算している。

宅地等防災対策工事費助成金は、宅地崩壊や土砂などの流入で住宅に被害を受けた場合等に、安全確保のため実施する工事費用の一部を助成するもので、昨年8月の大雨の影響を受けた被害者から計20件の申請があった。総括質疑では、大館駅周辺整備事業における駅前広場の歩道屋根設置工事の施工内容が取り上げられ、委員からは、観光客が雨や雪にぬれずに済むように歩道屋根の設置方法、形状を再検討してはどうかといった意見が出され、当局からも検討したいと回答があった。

厚生常任委員会



厚生常任委員会の様子

大館市消費者安全確保 見守りネットワークの 設置について

消費者安全法に基づき、令和5年4月1日から大館市消費者安全確保見守りネットワークを設置することが報告された。高齢者等を中心に消費者トラブルが増加、悪質化・深刻化していることから、相談体制の整備に加え、被害の防止、早期発見・早期救済のためのネットワーク

を構築するものである。市消費者生活センターを含む市民課と長寿課、地域包括支援センターで構成される。個人情報保護法の例外規定により、構成員間での個人情報共有が可能になり、迅速な被害救済につなげることができる。

大館市地球温暖化対策 実行計画の策定状況に ついて

大館市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定状況について、令和4年度の調査結果が報告された。温室効果ガスの排出量は人口減のほか、市民や企業による消費の変革で、40%の削減につながるとみている。排出抑制等に関しては61種類の施策を検討しており、削減目標値は関係課の事業と調整して設定する。今後、令和5年7月末までに計画案を作成し、パブリックコメントを行う予定であり、令和5年10月1日から運用開始を目指している。

常任委員会から

大館市議会には4つの常任委員会があり、それぞれが所管する議案等の審査をしています。ここでは、3月定例会の審査の概要をお知らせします。

教育産業常任委員会

「秋田犬のふるさと」としての取組について

令和5年は、忠犬ハチ公生誕100年の節目であり、令和5年度当初予算審査の際には、ハチ公生誕100年プロジェクトの事業として、イベントコンサルティング業務委託、大館うたの日（仮称）、サマースクール（渋谷区児童と市内児童との交流事業等）などの説明がされた。



教育産業常任委員会の様子

総括質疑では、イベントを行うことだけでなく、飼育数の減少や秋田犬会館の改修など、「秋田犬のふるさと」として抱える課題について取り組むよい機会ではないかということや、大館市観光交流施設「秋田犬の里」の指定管理の在り方などについて委員から質疑があった。それに対して市長は、同プロジェクトの推進の第一段に渋谷区との関係の深化があり、大館市民が渋谷区の、渋谷区民が大館市の、それぞれの魅力を理解し合い、これからの100年を紡ぐ語り部としての子供たちの交流が大切であり、そういったもののシンボルとして同プロジェクトを位置づけたいということを述べた。また、秋田犬の里の指定管理については、組む業者との関わり方が重要で、応募がなかった前回の募集時の方向性（指定管理料ゼロ円）にこだわる必要はなく柔軟性を持って対応するという認識を示した。

（指定管理料ゼロ円）にこだわる必要はなく柔軟性を持って対応するという認識を示した。

建設水道常任委員会

持続可能な公共交通の構築に向けた取組について

3月8日の委員会で、大館版mobiプロジェクトの取組について都市計画課より説明を受けた。

2月末時点の延べ乗車人数は1万1638人、1日平均は77・1人と、11月30日時点と比較して大きく増加した。年代別で見ると10代が一番多く、利用者全体の4分の1を占めていた。要因としては、高校生を中心とした若年層が保護者の送迎に代わる手段として利用されていることなどが挙げられていた。

利用者アンケートでは、バス路線から外れた交通空白地域での利用がみられ、利用者の半数以上は外出機会が増えたこと回答があったが、時間帯によって申込件数が集中したことから、待ち時間への評価は低い結果となった。

しかし、市民アンケートを通じて、将来的な利用可能性など

新たな交通サービスとしての関心も高く、利用者からも好意的な意見を寄せられていることから、需要を期待できるものと考えており、今後は、既存交通事業者への影響の推移を注視しながら、市民ニーズに寄り添った交通サービス構築を目指していきたいと説明があった。

また、3月15日の総括質疑でも取り上げられ、市長から「将来的に比内、田代地域に広げたい」とし、「既存バスによる大館地域を含む3地域をつなぐ公共交通の構築の考え」に理解を求めた。



建設水道常任委員会の様子

令和5年3月定例会をもって御勇退される皆様



小棚木 政之 さん（4期16年）

「キャリア教育の促進」を掲げ当選して以来、4期16年が経過しました。立場は変われど郷土の発展を願う心は変わりません。ありがとうございました。引き続き、よろしくお願いたします。



佐藤 久勝 さん（5期20年）

私の議員活動のはじまりは、県北の医療を守るため、秋田労災病院の内科医の確保に取り組むことを決心したことでした。皆様の厚い御支援、御協力により、5期20年の議員生活を送ることができましたことに感謝申し上げます。



佐藤 眞平 さん（2期8年）

2期8年、同僚議員や議会事務局、また、多くの方に大変お世話になり感謝申し上げます。今後は健康に留意し、地域に尽力したいと思います。皆様のご健勝、御活躍をお祈りいたします。



小畑 淳 さん（5期20年）

今まで5期20年もの間、大変お世話になり、誠にありがとうございました。これからは、一市民として、市政の発展にお手伝いしてまいりたいと考えております。



おつかれさまでした。



笹島 愛子 さん（8期32年）

8期32年の議員生活で、特別の事情がない限り、ほぼ毎回一般質問をしました。今後は、一市民として、よい施策には拍手を送り、よい要望などは届けたいと思います。今までありがとうございました。



斉藤 則幸 さん（5期20年）

5期20年の議員活動の中で、特に思い出すのが12年前の3・11東日本大震災です。あの時、岩手県宮古市に救援物資を運びましたが、田老町の震災現場を目の当たりにした時の衝撃は、今も忘れられません。



富樫 孝 さん（3期12年）

議員生活12年間で特に印象に残っているのは、旧庁舎での最後の一般質問で登壇したことで、旧庁舎にさようならと伝える気持ちで質問したことを今でも覚えています。今まで本当にお世話になりました。そして、ありがとうございました。

私もひ・と・こ・と 第50回

おさない
長内 明梨さん
あかり
(橋桁)



母乳とミルクどちらがいいか？

どちらでもいいです。一番重要なのはママと赤ちゃんの心と体が健康であること。

どちらでもいいと言いましたが、母乳を推進し妊娠中から退院した後まで母乳が継続できるようにサポートする病院があります。それはなぜか？母乳にはミルクにはない恩恵があるからです。具体的に言うと、母乳育児は母親の乳がん、子宮体がん、卵巣がんのリスクを下げる、赤ちゃんにとっては様々な感染症にかかる

リスクや将来的に生活習慣病になるリスクを減らし、歯並びをよくするメリットもあります。同居家族の喫煙は、赤ちゃんの突然死のリスクが上がるため避けたほうがいいですが、ママが喫煙している場合、ミルクより母乳で育てたほうがいいと言われています。母乳の恩恵はタバコの弊害を上回るのです。

母乳のメリットを羅列しましたが、ミルクだけで育ててもいいのです。ママの体調や家庭の環境、仕事との兼ね合いなどを考えてミルク育児を選択する方もいると思います。日本にはミルク全盛期もありました。ミルクだけで立派に育った大人はたくさんいます。母乳を増やすことに一生懸命になるあまり、育児にストレスを感じる場合はミルクを頼ってもいいと思います。いくら母乳が将来的に親子の病気のリスクを下げてくれるとしても、今ママが倒れては将来どころの話ではありません。赤ちゃんは母乳かミルクかなんて気にし

助産師。桶谷式(おけたにしき)乳房管理士。産婦人科クリニックで母乳外来を担当。昨年ふわっこ助産院を開業。イヤイヤ期2歳児の子育てに奮闘中。

ません。ママやパパの笑顔が一番望んでいます。

育児に一生懸命になるとストレス状態にあることに気づけないことがあります。食欲がない、赤ちゃんのお世話以外で目が覚める場合は危険信号です。休息が必要です。育児には自分の思いどおりに進まないストレスもあります。家事や育児をどちらか一方のみが行っている場合は、分担できるところはないか見直してみてください。分担に限界があるようであれば、ぜひ行政に頼ってください。つらく苦しい育児ではなく、楽しく自然に笑顔がこぼれるような育児ができるようにサポートさせてください。子育ては一人で行うものではありません。大館市地域全体でかけがえのない命を育てていきましょう。

「私もひ・と・こ・と」のコーナーでは、みなさんからの「なまの声」を募集しています。
議会事務局までご連絡ください。

去る4月12日、前議員の菅大輔さんがご逝去されました。ここに哀悼の意を表し、謹んで故人のご冥福をお祈りします。



故 菅 大輔
前議員

編集後記

令和5年3月定例会が終了しました。一般質問に12人が登壇し、今回も活発な議論が行われ、今春の市長・市議会議員の選挙が控えていることもあり、挨拶をされてから質問に入る議員もおりました。

また、今定例会で市議会を勇退される方は8人で、全体の約3分の1の方が交代となります。勇退される先輩議員の方には、お世話になった方々ばかりなので、個人的には寂しさを感じます。

5月から新しい方を迎えて市議会が未来に向かって新たに
出発します。

(小畑 新一 記)

